

日本レディースバドミントン連盟だより



Vol.19

J.L.B.F.

副会長就任 挨拶

副会長 民谷 千寿子



私事 昨年度より日本レディースバドミントン連盟副会長の職に就任させて頂き、天野会長のご指導のもと、職務の在り方や連盟との関わり方などを模索する中で早や1年が経過いたしました。今後、先輩役員の方の姿を思い起こしながら、微力ではありますが自分流のスタイルで職名に恥じないよう努力して参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

6年間の理事長在任中には、東京事務局スタッフを始めとする多くの役員の皆様にご理解と多大なご協力を頂けたことで、無事後任に職務を引き継ぐことができたことを心より感謝しお礼を申し上げます。

この10年を振り返ると、登録金の改定や役員定年制の制定・会員登録規程の見直し等々、自主財源の確保と計画的な役員組織循環と業務の引き継ぎ・若年層会員の獲得に向けた方策に取り組んで参りました。成果が見られるのはまだまだ先のことだとは思いますが、連盟会員の高齢化が全国的に進んでいることから、若年層会員の確保増大は急務であると思えます。

また、平成28年には本連盟が初めて取り組む普及開発事業「第1回日レ塾チャレンジアップ大会」を広島県レディースバドミントン連盟のご協力を頂き、広島サンプラザ体育館にて開催いたしました。この大会は、全日本クラブ対抗選手権大会への出場資格である未経験者（社会人になってからバドミントンを始めた者）を会員として獲得するための啓発活動の一環としたもので、各都道府県の代表チームでは無いクラブ員を対象として募集し、全日本大会への出場意欲の高揚と各々のクラブでの未経験者獲得の促進を図ることを目的とした事業でした。未経験者のみを対象とした全国大会である「クラブ対抗」は、他連盟や他競技団体には無い日レ独自の貴重な大会であり、長く継続していくためには競技者を増やす努力と会員として確保するための開拓を推し進めることが必要であると考える「日レ塾」を通して参加者への啓発活動を行って参りました。

どのような事業を行うにも賛否両論があるのは当然のことではありますが、生涯スポーツと競技スポーツ双方を推進する本連盟としては、全国大会に参加できる機会を広範に提供することや、底辺で連盟を支えてくださる大多数の登録会員の皆様に何かを還元できるよう、中長期に亘る取り組みが必要なのではないかと思えます。役員一人一人がそれぞれの役割を自覚し、変化する世代のニーズに沿った事業展開と組織運営に努めることも重要です。更に、女性の組織としての社会的地位を確立させるためにも、積極的

に社会と関わり、社会的常識をわきまえた連盟であること。その中で家庭を守り、日本バドミントン協会の重要課題であるジュニア育成にも携わりながら自分を磨き成長させることができる組織であって欲しいと願っています。

元号が令和に改元された記念すべき年、度、事務局長が京都に移転し、連盟は小国理事長のもと新体制で稼働しておりますので、今後も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

感染症対策

この度の新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、2月下旬から3月上旬に開催予定の本連盟加盟団体が主催するオープン大会等が全て中止される事態となりました。国内はもとより、広範に及ぶ世界で感染症が蔓延する事態となっている現状から、主催団体が苦渋の決断を行いました。大会への参加を楽しみにしてこられた会員の皆様への安全配慮上の対応措置としてご理解頂ければ幸いです。

今後も、各加盟団体におかれましては感染症の拡散状況により事業遂行への的確な判断を行って頂くようお願いいたします。

第37回全日本レディースバドミントン選手権大会

広島県レディースバドミントン連盟

理事長 井下 由紀子



令和最初の大会となりました全日本レディースバドミントン選手権大会は7月25日(木)から28日(日)までの4日間に亘り、広島県のシンボルであります世界遺産「原爆ドーム」にほど近い広島県立総合体育館グリーンアリーナにおいて都道府県対抗43チーム、クラブ対抗48チーム、総勢917名となる多数の選手の皆様を広島にお迎えすることができました。

本県で全国大会を開催するのは初めてのことで大会運営の知識が乏しく、役員一同が無事に大会を進めて行けるか不安でいっぱいでした。何をどのように取り組めば良いのかわからない時に第35回大会を開催された静岡県の役員さんから早々に大会関連資料をいただくことができたので、基本的な運営要領を役員全員がある程度理解することができました。役員を分担し担当者を割り振り、準備を始める会合を頻繁に行いました。

第36回京都大会には役員・担当責任者の9名で視察に赴き会場設営から大会終了

営を実際に見学し、京都府の役員さんからのように取り組んでこられたのか、注意されている点など具体的なご助言をいただき、疑問点が解決し大会までに取り組む課題が明らかになったことで、広島に戻ってからは皆の準備作業がはかどり綿密になりました。京都府大会関係者の方々には大変お世話になりました。

個人戦が開催された熊本大会の際には、日章旗・日バ・日レの旗をお譲りいただき大変助かりました。この他の県の皆さんからもご支援やあたたかい励ましのお言葉をいただき、広島県はずいぶん勇気づけられました。改めてお礼を申し上げます。

広島大会は一昨年の西日本豪雨災害からちょうど一年後の開催となりました。今回協賛いただいているメーカー各社には義援金箱を置いてもらって来場者に寄付を呼びかけていただきました。本県ではレディース連盟・県協会・実業団連盟・高体連・中体連等に大会運営にご協力いただき無事終了することができました。

広島大会開催に際しましては公益財団法人日本バドミントン協会、特別協賛をいただきましたヨネックス株式会社様を始め、ご協賛下さいました各社様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

そして日本レディースバドミントン連盟役員の皆様には準備期間から大会終了

後までご指導下さいましたこと大変感謝しています。ありがとうございます。

最後になりましたが全国から参加して下さいました選手の皆様にも心より感謝しています。ありがとうございました。

応援団からのコメント

京都府

広島大会！お世話になり有難う御座いました。リーグ戦・決勝トーナメントと数多くのレベルの高い試合をさせて頂きました。更にハイレベルな決勝戦を応援し、来年の群馬大会に向けて私達も頑張りたいと思いました。



応援団



岡山代表



試合風景

会 期 日 令和元年7月25日～28日
場 場 「広島県立総合体育館」

クラブ対抗



★優勝★ 広島エコクラブ (広島県)

初めての広島県開催と言う事で、一つでも多く勝てればと、クラブで一生懸命練習して来ました。危ない試合も皆で何とか乗り切り、優勝出来た事が夢みたいです。広島県の皆さん！たくさんの応援有難う御座いました。



★準優勝★ 凧子なぎさ (神奈川県)

クラブ設立50周年にあたる年に、全国大会で良い成績を残す事が出来ました。遠い所から応援に来てくれた仲間達と、チーム一丸となって試合に臨む事が出来、悔いのない大会にする事が出来ました。



★3位★ 松山レディース (愛媛県)

二年連続のベスト8で、悔しい思いを胸に練習を頑張って来ました。この結果に満足せず、更に上を目指します。大会運営のスタッフの皆様のお陰で、三日間気持ち良くプレー出来た事を、心から感謝いたします。



★3位★ ソークラブ (岐阜県)

全日本レディースバドミントン選手権大会に出場させて頂き、選手一同優勝を目指し、力を出し切ったの3位入賞となりました。楽しい大会に感謝しております。広島県の役員の方々、有難う御座いました。

都道府県対抗



★優勝★ 兵庫県

トーナメントが上がってからは、苦しい戦いが続きましたが、チーム一丸となって悲願の優勝を勝ち取ることが出来ました。支えて下さった皆様や応援して下さいました皆様、そして大会役員の皆様にご挨拶申し上げます。



★準優勝★ 福岡県

「もうダメか!」と思う試合を、大応援団に後押ししてもらい、決勝までたどり着きました。あと一歩及びませんでした。たくさんの感動をもらいました。また、上を目指して頑張ります。



★3位★ 福井県

今年も、最終日まで残る事が出来て大変嬉しいです。昨年より成績は、一つ下がりましたが、全員が力を合わせての結果なので満足しています。来年こそは頑張ります。役員の皆様！色々本当に有難う御座いました。



★3位★ 神奈川県

直前の練習では、それぞれの課題に煮詰まった事もありましたが、「私達は、バドミントンをしに来ました!」と言う主将の言葉で吹っ切れ、ここまで頑張れました。支えて下さった皆様、有難う御座いました。

YONEX Cup International Friendship Ladies Badminton Tournament 2019

Date : Wednesday Oct.23 - Sunday Oct.27 OSAKA, JAPAN

ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2019



大阪府レディースバドミントン連盟
理事長 竹田 由美子



令和元年の表記大会は、大会創設25周年となるAnniversary大会として開催いたしました。1995年、当時大阪府レディース連盟の理事長で現名誉会長の村井広美が中心となり、バドミントン技術の向上と生涯スポーツの実践、更に「グローバルな視点で国際交流の輪を広げたい」という理念の元に立ち上げた大会でした。試行錯誤しながら一年一年積み重ね25年続けてこられた感慨と共に、私共の活動に共感して下さりご支援いただいた協賛企業の皆様と参加していただいた選手の皆様に心より感謝申し上げます。

海外チームの参加で振り返りますと、親交のあった台北に加え、小さなコネクションを手練り寄せて繋いだ中国、韓国と合わせて5チームからのスタートでした。その後、地道な誘致活動を重ね13か国とご縁を持つまでとなり、リピーターの口コミも相まって参加チームは年々増加し、ここ数年は40チーム前後の参加をいただくようになりました。Aゾーンではレジェンド選手の参加も定着し、白熱したプレーに息を呑み、賞金のかかった国際大会の醍醐味を感じることが出来ます。アリーナでは外国語が飛び交い、お互いの健闘を讃えての記念撮影も見慣れた光景になりました。昨今のSNSの普及により海外が身近なものになり、大会の様子は世界へ発信され友好の

輪が広がっています。

さて、今大会ですが、直前の台風通過で各地では大変な被害が出ました。エントリーされた皆さんが無事に来られるか心配しました。元気な顔を見せて下さり安堵しました。フレッシュな大学生やレディースジャパンの選手がレジェンド選手に挑む姿は見応えがありました。また、昨年新設された75歳以上で構成されるKゾーンでは10チームのエントリーがあり、シニア世代の増加を物語るまさに生涯スポーツの実践を実感いたしました。

運営面の充実に向けては、日本レディース連盟で国際実行委員会を立ち上げ、大阪でも選手の皆様が国際大会を楽しんでいただけるよう年間を通じてスケジュールを立て、お迎えする準備を進めています。この日の為に研修を積んだ審判員、てきぱきと動く役員は大阪の誇りであります。大会を盛り上げるサブアクションも工夫しました。ヨネックスアドバイザースタッフ前田美順さんによるクリニック、復興支援活動の福島物産展、(公財)日本バドミントン協会の国際交流事業であるBADMINTON 4 TOMORROWへの協力活動、乳がんの啓蒙活動(ピンクリボン活動)、ネイルとヘアアレンジやお楽しみ抽選会、海外選手向けには浴衣着付け等々、カフェも併設したロビーは女性が集う大会に相

応しく華やかに賑わいました。

本年度は第3回となる女性フォーラムも開催しました。日本レディース連盟天野会長を始め、日本代表として活躍された往年のトッププレーヤーをお招きし、今後のレディースバドミントンの発展やこの大会の役割について意見交換を行いました。多方面でご活躍の方々からの貴重なご意見は、25年を超え更なる目標に進む私共への課題として心に刻み、次のステップへ繋げて行こうという新たな決意を持たせてくれました。

もうすでに今年の開催に向け準備に取り掛かっておりますが、これまで築いてきた思いと実績をもって、その勢いを止める事なくよりさらに質の良い大会を目指して参ります。日本レディース連盟会員の皆様には、これからもご支援とご協力をお願いし大会終了のご報告とさせていただきます。



ネイル・フェイスペイント

ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2019



Ladies Japan メンバー

メンバー紹介(写真左から選手名、都道府県)
 井口憧(徳島県) 宮崎友望(徳島県) 原田由貴(岡山県)
 香山百合子監督(岡山県) 上田恵里加(熊本県)、
 小林遙華(岡山県) 治部りか(岡山県)

監督 香山 百合子

今回のレディースジャパンは、昨年の全日本レディースバドミントン競技大会上位3組で結成させたチームでしたが、途中メンバー変更があり選手の皆さんにはご迷惑をおかけしてしまい申し訳なかったと思います。

そのような状態でも選手たちは明るく一生懸命プレーをしてくれました。予選リーグを抜けられなかった事は選手が一番残念に思っていると思いますが、それぞれが持っている力を全て出し切ってくれたと感じました。

皆さんの更なる飛躍を期待しております。

Ladies Japan コメント

今回レディースジャパンのメンバーとして本大会に参加でき、貴重な体験をさせて頂いた事、非常に嬉しく思います。今大会では普段の練習や試合では対戦する事のない世界の舞台上で戦ってこられた中国や韓国の選手の方々やまた、学生の方々、地域のクラブチームの方々や国や年代を超えた様々なカテゴリーの選手と試合をさせて頂きました。このように様々な選手が参加している大会は稀で、私は初めて参加しました。トップレベルの選手のプレーを間近で見ることが出来たこと、実際に一緒にプレーする事が出来た事はとても幸運に感じています。このような機会を与えて下さった方々に感謝の気持ちで一杯です。また機会があれば是非参加したいと思います。ありがとうございました。



前田美順氏クリニック



試合風景



第3回女性フォーラム



会場写真



集合写真



Dゾーン優勝 Chinese Taipei F (TPE)



Eゾーン優勝 沙羅クラブB (奈良県)



Fゾーン優勝 鳳凰-PHOENIX- (CHN)



Gゾーン優勝 オールド (大阪府)



Hゾーン優勝 ちばかな (千葉県)



Jゾーン優勝 ミラクルパワー C (埼玉県)



Kゾーン優勝 ミックス75愛知 (愛知県)



Aゾーン優勝 YONEX MULAN (CHN)



Aゾーン準優勝 KOREA A (KOR)



Aゾーン第3位 京都府学生選抜 (JPN)



Bゾーン優勝 Chinese Taipei A (TPE)



Cゾーン優勝 Chinese Taipei B (TPE)

大会事業本部 国際部

2019年第4回高陽市チャレンジ国際バドミントン大会

大阪府レディースバドミントン連盟 木村 幸子

大会名 2019年第4回高陽市チャレンジ国際バドミントン大会
 期日 2019年9月7日(土)~8日(日)
 会場 韓国京畿道 高陽市体育館

日韓の外交関係が危惧される中、大会組織委員会や外務省への問合せを経て今までの繋げてきた友好関係を信じ大阪より9名で参加。アジアからは男女1,500名のエントリーがあり賑やかな大会であった。大会は各コートにタブレットと電子得点板で進行、YouTubeで試合等を再生出来たりとデジタル機器を駆使されており、情報の速さと量の提供に驚かされた。会期中、各国代表者とミーティングが行われ、韓国李会長より「この大会は参加者みんなのものである」の言葉があり、アンバサダーとしての高い意識を感じ、今後の更なる向上を期待したい。2019国際親善大会には大会関係者の方々が視察に来られ、交流を深めることが出来た。



大阪レディース連盟選手団



各国代表者

2019第48届世界清晨盃羽球錦標賽 大会参加報告

大阪府レディースバドミントン連盟 山内 菊子

大会名 2019第48届世界清晨盃羽球錦標賽
 期日 2019年4月11日(木)~14日(日)
 会場 中華民国台北市 台北體育館

中華全民羽球發展協會が主催するこの大会は、毎年2,000人余りの参加があり来年で50周年を迎える。それを見据えて今後は台湾バドミントン最高機関である 中華民國羽球協會と共同で主催するということになり盛大なセレモニーが行われた。折しも我々の国際親善大会が25周年を迎えるということもあり、とても興味深く観覧した。これからも海外遠征は招致活動と同時にいろいろなことを吸収して我々の大会の発展につなげたいと思う。



共同主催調印式



大阪レディース連盟選手団

第14回全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)



福井県レディースバドミントン連盟

理事長 岡田 忍

令和元年12月6日(金)から8日(日)までの3日間に亘り福井県営体育館、福井市体育館、勝山市体育館(ジオアリーナ)の3会場において40都道府県から926名の選手の皆様をお迎えし、令和最初の大会を無事に終了することができました。

最初にこの大会開催の話をうけたときは、福井県に全国大会を開催できるような体育館がなく、選手の皆様に気持ち良くプレーしていただくにはどうしたらよいか迷いながらの準備が始まりました。旧年度の福井国体の開催と共に体育館や公共施設が次々と建設、改装され、勝山にはジオアリーナというバドミントン専用体育館も完成し、ようやく心の準備ができました。

それからは、役員やスタッフと何度も会議を重ね、熊本大会の視察にも行かせて頂きました。準備中とりわけ苦労したのは審判員の確保です。福井は人口が全国でも少なく、レディースの会員数も下から数えたほうが早い県で、審判員が思うように集まらず大会本番近くもなっても依頼の連絡をしながらの日々となりました。

た。県協会、各クラブ、大学生、高校生の方々にもご協力いただき大会を迎えることができました。

全国から参加していただきました選手の皆様のはつらつとしたプレーに沢山の元気をいただき、バドミントンの楽しさを改めて感じる事ができました。本当にありがとうございました。大会開催中は、配慮が行き届かず皆様にご迷惑をおかけしたところもあり申し訳なく思っております。

今大会を開催した経験を今後の活動にいかしていきたいと思っています。

最後になりましたが、本大会開催に際しご協力頂きました、公益財団法人日本バドミントン協会様、特別協賛のミズノ株式会社様をはじめとするご協賛各社、ご後援いただきました朝日新聞社様には大変お世話になりました。心より厚く御礼申し上げます。

また準備から大会終了までご協力、ご指導頂きました、日本レディースバドミントン連盟の役員の皆様には大変感謝しております。ありがとうございました。

1部入賞者



優勝：宮本 愛梨・川端 葵衣 (福井県)

「地元の福井県で優勝する事が出来て、とても嬉しいです。レベルが高くて、何度も心が折れましたが、強い気持ちを持ち続ける事が出来て、それが結果に出て良かったです。ありがとうございました。」

準優勝：岸上 紗帆・勝間香菜恵 (京都府)

3位：森田 ゆみ・岡本英里香 (福井県)



試合風景

2部入賞者



Aブロック

優勝：藤田 梨那・大島 美貴 (福井県)

準優勝：村田 恵・南 晴奈 (福井県)

3位：矢島茉由子・須藤 詩織 (群馬県)



Bブロック

優勝：福永 亜希・福島 綾子 (鹿児島県)

準優勝：野中 愛子・北島 文 (福岡県)

3位：福原志津子・中野 絵美 (岐阜県)

会期

日

令和元年12月6日～8日
福井県営体育館
福井市体育館
勝山市体育館(ジオアリーナ)

2部入賞者



Cブロック

優勝：高木 圭子・葛西 深雪(岐阜県)
準優勝：平尾由里子・尾上 真紀(滋賀県)
3位：寺内 美幸・飯島 波江(群馬県)



Dブロック

優勝：高崎 朋子・堀池由紀子(東京都)
準優勝：畑末絵理香・稲田 百合(兵庫県)
3位：蔵本 利美・前田美和子(石川県)



Eブロック

優勝：竹田由美子・希有ユミ子(大阪府)
準優勝：長野 久美・松元 恵(鹿児島県)
3位：内城 輪恵・鷲見 直子(岐阜県)



Fブロック

優勝：近藤 晴美・西川 茂美(滋賀県)
準優勝：吉井 正美・中津留千穂(兵庫県)
3位：高垣 尚美・大東恵里子(兵庫県)



Gブロック

優勝：岩崎 千春・今津 裕美(埼玉県)
準優勝：磯 昌代・北林 真弓(埼玉県)
3位：小庭 洋子・須田美由喜(東京都)



Hブロック

優勝：川谷 明子・堂山貴美子(福岡県)
準優勝：西村 真澄・井上美智代(福井県)
3位：井下由紀子・松原 春美(広島県)



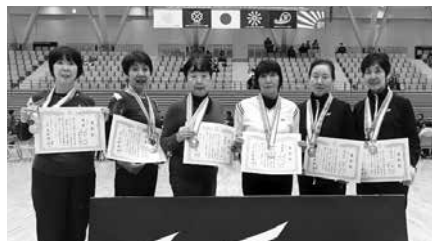
Jブロック

優勝：新田 豊子・竹林佐代子(香川県)
準優勝：永松 立子・東地加代子(福岡県)
3位：赤澤 五月・後藤 恵(岡山県)



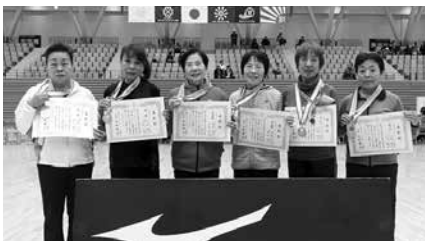
Kブロック

優勝：田倉テイ子・宮崎美江子(東京都)
準優勝：真鍋 絹子・河野 昌子(千葉県)
3位：梯 栄子・市田 礼子(東京都)



Lブロック

優勝：佐藤美恵子・室田 光枝(埼玉県)
準優勝：宮本 容子・米口 順子(東京都)
3位：佐藤マツノ・大庭 弘子(神奈川県)



Mブロック

優勝：山本しず子(愛知県)
中村 聡子(高知県)
準優勝：兼田 公子・高澤 節巳(大阪府)
3位：竹村 明子(神奈川県)
大川 順子(大阪府)



Nブロック

優勝：佐藤 督子(宮城県)
遠藤夫美子(福島県)
準優勝：大塚かつ江(埼玉県)
村田 勝子(千葉県)
3位：下山タエ子・牧野 君代(兵庫県)



大会風景

日本レディース連盟大会日程表

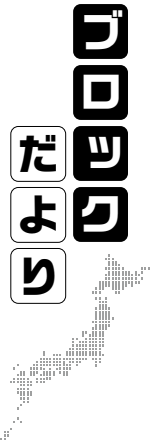
| 第38回 全日本レディースバドミントン選手権大会 (都道府県対抗・クラブ対抗) | | 第15回 全日本レディースバドミントン競技大会 (個人戦) | |
|--|--|-------------------------------|--|
| 期 日 | 令和2年 8月20日(木)～23日(日) | 期 日 | 令和2年 12月11日(金)～13日(日) |
| 会 場 | ALSOKぐんま総合スポーツセンター | 会 場 | ダイワロイネットホテル和歌山・和歌山ビッグホール・和歌山ビッグウエーブ・和歌山県立体育館 |
| 監督会議 | 8月20日(木) 15:00～ | 代表者会議 | 12月11日(金) 16:00～ |
| 開 会 式 | 8月20日(木) 16:00～ | 開 会 式 | 12月11日(金) 17:00～ |
| 競 技 | 8月21日(金) 9:00～ 8月22日(土) 9:00～ 8月23日(日) 9:00～ | 懇 親 会 | 12月11日(金) 18:00～ |
| 閉 会 式 | 8月23日(日) 競技終了後 | 競 技 | 12月12日(土) 9:00～ 12月13日(日) 9:00～ |
| | | 閉 会 式 | 12月13日(日) 競技終了後 |

| ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2020 | | | |
|-----------------------------|---------------------------------------|-------|--|
| 期 日 | 令和2年10月20日(火)～24日(土) | 競 技 | 10月21日(水) 9:20～ 10月22日(木) 9:20～ 10月23日(金) 9:20～ 10月24日(土) 9:20～ |
| 会 場 | エディオンアリーナ大阪第1、第2競技場 大阪市立浪速スポーツセンター | 閉 会 式 | 10月24日(土) 競技終了後 |
| 代表者会議 | 10月20日(火) 16:30～ | | |
| 開 会 式 | 10月20日(火) 17:10～ | | |

オープン大会日程表

| 開催日 | 大会名 | 開催地 | 会 場 |
|---------------------|---|------|------------------------|
| 5月30日(土) | 第17回ふじやまオープン レディースバドミントン大会(個人戦) | 静岡県 | 富士宮市民体育館 |
| 6月4日(木) | 第18回北海道よさこいそ〜らん オープンバドミントン大会(個人戦) | 北海道 | 北ガスアリーナ札幌46 |
| 6月4日(木)・5日(金) | 第27回福島オープン レディースバドミントン大会(個人戦) | 福島県 | いわき市総合体育館 |
| 6月18日(木)～ 20日(土) | 第47回京都オープン レディースバドミントン大会(団体戦) | 京都府 | 島津アリーナ(府立体育館) |
| 6月20日(土) | 第16回福井県レディース オープンバドミントン大会(個人戦) | 福井県 | 敦賀市総合運動公園体育館 |
| 9月12日(土) | 第32回輝レディースオープン大会(団体戦) | 山口県 | 維新大晃アリーナ |
| 9月17日(木)・ 18日(金) | 第33回奈良オープン レディースバドミントン大会(団体戦) | 奈良県 | ならでんアリーナ(奈良市中央体育館) |
| 9月22日(火祝) | 第13回やまびこレディースオープン大会(個人戦) | 長野県 | 信州スカイパーク松本平広域公園体育館 |
| 9月22日(火祝) | 第4回わかバドオープン(個人戦) | 和歌山県 | 和歌山ビッグウエーブ |
| 10月1日(木) | 第35回広島レディース オープンバドミントン大会(個人戦) | 広島県 | 広島サンブラザ |
| 10月7日(水)・ 8日(木) | 第15回マザーレイク フェスティバルバドミントン大会(団体戦) | 滋賀県 | 野洲市総合体育館 |
| 11月2日(月)・ 3日(火祝) | 第5回清流の国ぎふレディース バドミントンオープン大会(団体戦) | 岐阜県 | OKB岐阜清流アリーナ |
| 11月3日(火祝) | 第12回よさこいレディース オープンバドミントン大会(団体戦) | 高知県 | くろしおアリーナ |
| 11月6日(金) | 第30回茨城県レディース バドミントン連盟ひばりの会(個人戦) | 茨城県 | 取手市 グリーンスポーツセンター体育館 |
| 11月15日(日) | 第17回湯けむりレディース バドミントンオープン大会(団体戦) | 大分県 | 別府市総合体育館(べっぷアリーナ) |
| 12月3日(木)～ 5日(土) | 第15回兵庫オープンレディースバドミントン大会 すみれオープン(団体戦) | 兵庫県 | 宝塚市立総合体育館 |

| 令和3年 | | | |
|--------------------------------|---------------------------------------|------|--------------------------|
| 1月12(火)・13日(水) 25(月)～27日(水) | 第12回愛知オープン レディースバドミントン大会(団体戦) | 愛知県 | 日本ガイシスポーツプラザ第2競技場 |
| 2月13日(土) | 京都府レディースバドミントン年齢別オープン個人戦2020 | 京都府 | 島津アリーナ(府立体育館) |
| 2月19日(金) | 第47回長崎県レディース バドミントンオープン大会(団体戦) | 長崎県 | 長崎県立総合体育館 |
| 2月25日(木)・ 26日(金) | 第25回千葉・菜の花オープン バドミントン大会(個人戦) | 千葉県 | 千葉ポートアリーナ |
| 2月27日(土)・ 28日(日) | 第7回和歌山オープン レディースバドミントン大会(団体戦) | 和歌山県 | 和歌山市立河南総合体育館 |
| 3月9日(火)・ 10日(水) | 第18回大江戸オープン大会(個人戦) | 東京都 | 武蔵野の森総合スポーツプラザ |
| 3月14日(日) | 第16回徳島県レディース 阿波踊りオープンバドミントン大会(団体戦) | 徳島県 | とくぎんトモニアリーナ (徳島市立体育館) |



北海道ブロック 評議員
北海道 高野 優子

この一年、北海道ブロックは今まで取り組んできた広域で高齢化等によると考えられる大会参加者の減少対策として、要項、内容の見直しとそれらに繋がるような試みとしての交流会の開催や、一昨年胆振東部地震により中止となった全道競技大会（持ち回りにより今大会は北空知地区滝川市で開催）第48回大会の二年振りの開催に取り組んで参りました。一度の中止を経て開催された全道大会につきましても、新たな課題や問題点も見えた部分があり、見直しや検討を図っているところです。

東北ブロック 評議員
福島県 高田 みゆき

東北ブロックでは、令和最初の10月12

ブロック内の各地区の役員の方々とも連携をとりながら各大会を充実させ、2022年全日本レディース選手権北海道開催に向けて一丸となり取り組んでまいりますので、変わらぬご支援とご指導の程よろしくお願い致します。毎年6月に行われております『よさこいそらんオープン大会』も変わらず各都道府県からの沢山のご参加を心よりお待ちしておりますのでこちらもよろしくお願致します。

日、13日に福島県福島市にて、第26回東北地区レディースバドミントン大会を開催致しました。

新体制後、初めての大会だったので不安でいっぱいでしたが、役員・会員一貫となって協力し合い無事終了することが出来ました。

大会前日12日に日レよりブロック訪問が予定されていましたが、大型台風の影響で出席できませんでした。このような状態で開会式・レセプションを中止すべきか迷いましたが、各県の役員・選手の方々が参加くださり無事に行われました。しかし、予定していたアトラクションが中止になり予定時間を早め終了しました。

また、大会当日は前日の雨も上がり晴天になりましたが、3チームの棄権があり、試合内容を変更し行いました。

東北ブロックの役員の皆様には、ご指導いただきましたことを心より感謝申し上げます。

関東ブロック 評議員
千葉県 大竹 真弓

令和元年度は千葉県の主管で、関東2大行事の第9回春季と第14回秋季の関東レディースクラブ対抗戦を開催しました。千葉県は理事が半数入れ替わり、不安な中で5月の春季大会開催となりました。また、9月には、千葉県レディース大会の8日間に渡る開催期間最中に体育館が台風被害により使用不可能となり、対応に追われながら秋季関東大会の準備も行いました。そのような中で、関東ブロックの各都県理事長をはじめ、会員の方々の協力を頂きながら、選手たち

の精一杯の素晴らしいプレーを見ることで、感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。

東京オリンピックとパラリンピックの間に行われる「第38回全日本レディースバドミントン選手権大会」は、8月20日（23日）に、群馬県の主管で開催されます。令和2年関東の夏はバドミントン色に染まりそうです。

最後になりましたが、台風被害の際には多くの方々に支えて頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

北信越ブロック 評議員
富山県 松下 玲子

北信越ブロックでは5月19日に『第36回北信越レディースクラブ対抗バドミントン大会』を富山県総合体育センターにて開催致しました。前日には会議室にて北信越理事会、役員会を行いました。大会は1部7チーム、2部8チーム、3部12チーム、4部20チーム シニアの部1チーム（例年減少傾向で今回は4部に変更対応）総勢322名の参加でした。シニアの部の見直し、また新たな試みとして北信越対抗の部を新設し全日本大会に向けての意識とレベルUPを図る目的で行うことなどを会議で協議致しました。

第14回全日本レディースバドミントン競技大会が、福井県で行われました。地元の若い選手が1部、2部Aで優勝されたこととても嬉しかったです。この大会を機にたくさんの方々が全国大会へチャレンジするきっかけになればと思います。北信越ブロックがますます活気づくよう役員一同協力しながら頑張っていく

ますので宜しくお願い致します。

東海ブロック 理事
愛知県 平出 文江

令和元年度、東海ブロックは例年通り、総会・三重県津市「サオリーナ」において東海大会（団体戦・個人戦）・理事長会を無事終えることができました。

東海大会につきましては各県で予選会を勝ち抜いてきた方の参加となりますので、県代表という誇らしい気持ちでの試合は格別なものでしょう。

これからも東海大会に出られるように頑張って練習をして、さらにその上の全国大会にもチャレンジしていく選手たちを後押ししていきたいと思えます。

全日本レディース選手権大会都道府県対抗戦では東海四県すべてがリーグ戦を勝ち抜きトーナメント戦に上がることができました。各県が少しづつ力をつけてきているのだとうれしく思います。

理事長会では日レの報告や各県の情報交換をしてブロック活動の活性化につなげていきます。

静岡県では長年ご尽力いただきました井手昌子さんが理事長を退任され、新しく山本晴代さんが就任されました。

新しいご意見をいただき、更に意見交換を重ねながら、より良いブロック活動を目指していきたいと思えます。

近畿ブロック 理事
滋賀県 吉崎 美智子

2019年度の近畿ブロックの活動といたしましては、滋賀県で6月に近畿レ

レディースバドミントン競技大会・3月に近畿レディースバドミントン選手権大会を開催いたしました。各府県の代表28チームで優勝を争う2大会は、レベルが高く内容の濃い試合が数多く繰り広げられました。

合わせて、総会をはじめ年4回の理事会・新年会では、交流を深めるための意見交換を行いました。

又、大阪で開催される国際親善大会、50歳以上が参加対象の近畿シニア親睦大会をはじめ各府県でのオープン大会も盛んに行われました。

令和2年12月には和歌山県で全日本レディースバドミントン競技大会が開催されます。この大会につきましては何年もかけて準備をされてきたとお聞きしております。『近畿は一つ』を合言葉に大会を盛り上げられるように各府県頑張りたいと思っております。是非ご参加下さいますようお願いいたします。

中国ブロック 評議員
鳥取県 池田 久美子

令和元年度、中国ブロックでは5月18日、19日の両日中国地区レディースバドミントン大会を、山口県で開催しました。クラブ対抗の部と年齢別の部で、各県の代表が白熱した戦いを繰り広げました。ただ、近年若い年齢層での参加者確保が難しい状況が出てきており、大会の持ち方に工夫をしていくための話し合いを各県理事長で行いました。

また、11月には、中国地区親睦大会と理事長会を広島県で開催しました。各県3名の県対抗団体戦では、初めてトリプルスに挑戦し、ダブルスとは違う面白さ

を味わいました。午後からは県を超えてチームを作って交流試合を行い、大いに親睦を深めることができました。

7月には全日本レディースバドミントン選手権大会が広島で盛大に開催されました。参加された選手の皆さんと運営に携われた役員の皆様、本当にありがとうございました。これからも、中国地区で協力しながら、会員の親睦やレベルアップにつながる活動に取り組みでいきたいと思っております。

四国ブロック 理事
徳島県 高田 由紀江

昨年度より理事をさせて頂いていただきます。何事も初めての体験で、改めて役員のご苦勞を感じています。我が徳島県は、何事も消極的で、常に試合の参加人数やクラブ数の心配が絶えません。この機会に、全国の活動を参考にさせて頂ければと思います。

元年度四国ブロックの活動としましては、5月12日愛媛県総合運動公園体育館にて、第35回四国レディースバドミントン大会を開催いたしました。1部から4部リーグまで29クラブで熱戦が繰り広げられ、四国内の親睦も深められたと思います。

6月には、全国大会に向け、四国合同練習会を行い、さらなる高みを目指し、レベルアップを計るべく、良い汗を流しました。

3月には、高知市にて四国レディースの総会を行い、各県の活動状況等を話し合いました。

2021年度には、香川県で全国大会個人戦が予定されています。益々、四国

が一丸となってサポートできればと思います。

九州ブロック 評議員
長崎県 花井 小夜子

令和元年、九州ブロックでは、10月13日に第41回全九州レディースバドミントン選手権大会を長崎県立総合体育館にて開催いたしました。

大会はフリーの部、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳以上の7種目、3ダブルスによる団体戦で行われ、54チーム、387名の参加がありました。九州8県持ち回り大会の為、一年前から準備を進めて参りました。

一年振りに会う選手同士、激しい中にもお互いの健闘を称え合いながらの大会となりました。

結果はフリーの部、40歳が熊本県、50歳、60歳が福岡県、45歳が長崎県、55歳が鹿児島県、65歳以上を沖縄県が優勝を飾り、盛会のうちに無事終了することができました。選手の皆様、各県理事長の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。令和2年度は佐賀県にて開催されます。選手役員の皆様のみならずのご活躍を心より願っております。又、九州レディース連盟理事長会では毎回活発な意見が出され大会運営等にも参考になる事ばかりです。令和2年度も皆様の活躍を祈念しております。



代表者会議

編集後記

連盟だよりVOL.19を作成致しましたのでご覧頂ければ幸いです。新型コロナウイルス感染拡大の為、各種イベントが延期や中止となり更には休園、休校等、家庭生活にも支障が出て来ております。世界各国で広がりを見せ、不安な日々を過ごされている事と思っております。

一日も早く終息し、元の生活に戻れることを願うばかりです。

(事務局) 足立 覚津美

発行
日本レディースバドミントン連盟
京都府京都市南区東九条下殿田町七〇
京都府スポーツセンター内
TEL 〇七五-六九二-三三三
FAX 〇七五-六九二-三三三

責任者 民谷 千寿子
編集 総務本部

